

ナス

平成6年にJAテラル越前のナス部会が設立され、栽培が始まりました。サイズは中長、皮や実が柔らかいのが特徴で、市場からは品質が高いと好評価を得ています。

また、平成16年には部会員全員がエコファーマー（※3）認証を取得して、人と環境にやさしい栽培に努め、ブランド力の向上に取り組んでいます。

※3 エコファーマー 環境と調和した持続可能な農業生産方式に取り組み県が認定している農業者



1 生産概況

①生産地

大野市下庄地区を中心に、奥越地域全域で栽培されています。

②栽培の主な特徴

- ・ 4～5月に定植し、6月中旬から11月上旬にかけて収穫されています。
- ・ 栽培品種の「千両2号」は、濃黒紫色でツヤがよく果皮はやわらかいのが特徴です。そのぶん強風にさらされるとキズが付きやすいという問題もあります。そこで、防風ネットや、ソルゴーとよばれる作物を周りに植え付けて防風壁をつくるなど、品質の高いナスの生産に取り組んでいます。
- ・ 畝の各所にアザミウマという害虫の天敵を寄せ付ける植物（コンパニオンプランツ）として「マリーゴールド」を植え付け、アザミウマなど害虫による被害を抑え、農薬使用回数の削減に努めています。

